令和7年度東京都立世田谷総合高等学校

学校経営計画

東京都立世田谷総合高等学校長

田川 健太

1 目指す学校

(1) スクール・ミッション

学力の伸長、自己理解の追求、国際的視野の涵養」を教育目標とし、進路探索学習、ものづくり体験学習、身近な地域の環境、文化、福祉などの学習、ビジネスや情報学習といった教育活動を通じて、様々な分野で創造できる生徒、様々な人と協調して社会に貢献できる生徒、困難に挑戦し、課題解決できる生徒を育成します。

(2) スクール・ポリシー

ア グラデュエーション・ポリシー

「予想される社会の変化に対応し、高い志と柔軟な感性を用いて、たくましくしなやかに生き抜くことができる人」の育成を目指す。具体的には次の3点を重視する。

- ① 個性を生かした特定の分野で創意工夫や発想力を活かし、新しいものを生み出せる人
- ② 価値観の異なる様々な人とボーダーレスに協調し、周囲の人を動かすことができる人
- ③ リスクを恐れず困難な課題解決に勇気を持って挑戦し、社会に貢献しようとする人

イ カリキュラム・ポリシー

上記3点を8つの力に分類し、学校の教育活動全体を通して、バランス良く育成するための教育課程を編成する。

- ① 【計画力・実践力・専門力】スペシャリストを目指した知識・技能を生かす力の習得
- ② 【課題発見力・創造力・グローバル力】未知の状況にも対応できる力の育成
- ③ 【貢献意欲・チャレンジ精神】学びを人生や社会に生かそうとする、学びに向かう力・人間性の涵養

ウ アドミッション・ポリシー

本校の教育理念・方針等について十分理解し、特色ある総合学科教育により自己実現に努める強い意志のある生徒の入学を期待する。具体的には以下の4点となる。

- ① いずれの教科の学習も真剣な態度で取り組んできた生徒
- ② 中学校での学習において得意教科があり、入学後も本校の特色ある教科・科目の学習によってその力を伸ばそうと考えている生徒
- ③ 生徒会活動や委員会・系の活動、部活動等における役割を、責任をもって果たしてきた生徒
- ④ 学校外における文化・スポーツ、ボランティア等の活動や検定資格取得等において継続的に取り組んできた生徒

※特に推薦選抜においては、上記項目1～4の全てに該当する生徒が望ましい。

※「文化・スポーツ等特別推薦」においては、入学後3年間、部活動や学校行事と学習を両立させ、他の模範となる生徒が望ましい。

2 中期的目標とその達成に向けた方策

(1) 学校経営・学校運営

ア 組織体制

(目標) 全教職員が良好な関係を築いて連携し、教科・分掌・経営企画室が組織的・横断的に機能しながら特色ある教育活動を実践・発信するとともに、これからの総合学科高校の在り方を検討し、都立総合学科高校をリードする存在となることを目指す。

(方策) 各分掌主任・教科主任がミドルリーダーとして機能する組織を運営する。職員室と経営企画室の良好な連携により、業務の円滑化を図る。業務内容に重み付けをして効率化を図ることで、ライフ・ワーク・バランスを促進する。学校運営連絡協議会等を活性化し、地域と連携しながら広く本校の学校運営について周知するとともに、総合学科高校に期待すること等の情報を収集する。

イ 危機管理

(目標) 生活・交通・災害における安全とサービス事故の防止を徹底する

(方策) 日頃より教員向けのサービス事故防止研修を実施し、事故を無くす。避難訓練や救命救急講習等の実施により、危機を回避する手法を身に着ける。

ウ 都民への情報発信

(目標) 本校の特色を生かした個性的な発信により、多くの方からの好感度を向上させる。

(方策) ホームページやSNS等を活用して、本校における特色のある教育活動や施設を随時発信する。地域の中学校生徒・保護者に向けた学校PRを積極的に行う。

(2) 学習指導

(目標) ものづくり・芸術、国際理解、情報、生活、科学、社会等、各分野の専門性を生かした学習を通じて、生徒の主体的な学習と学力の向上を推進する。

(方策) 授業の時間を大切にするとともに、自宅学習の習慣化を一層向上させる。教科会を活性化させ、教科内や教科間で教員どうしの情報交換を活発にする。研究の拠点としての学校図書館の充実を図るとともに、読書習慣の定着を図る。

(3) 生活指導及び進路指導

ア 生活指導

(目標) 生徒が互いを尊敬・尊重し合い、互いに高め合う心の育成を図る。

(方策) いじめや体罰の無い学校づくりに向け、諸調査等により、未然防止・早期発見・早期対応に努める。教職員・保護者・地域との連携を密にし、安全・安心な学校づくりを推進する。教育相談体制を構築し、自殺予防等生命尊重や個別の支援教育を計画的に行う。基本的な生活習慣を一層向上させる。

イ 進路指導

(目標) 組織的、系統的なキャリア教育と学習指導を一体化させることで、一人一人の生徒がより具体的な将来へのビジョンを持ち、自ら最も望む進路実現を目指す生徒を育成する。

(方策) 大学等、外部機関との連携や外部人材の活用等を一層推進し、3年間で学ぶ「キャリアデザイン」「人間と社会」「課題研究」を充実させる。

(4) 特別活動その他

(ア) (目標) 生徒が主体的に学校行事・部活動等に取り組むことで、効果的に成果を上げる支援をする。

(方策) 人権教育や生活指導を軸に、学校生活全般において、規則・規律・マナー・倫理観・使命感を醸成する。主権者教育を推進し、社会貢献と公共心の意識を涵養する。

(イ) (目標) グローバル社会への対応、学校の特色化として国際理解教育を推進し、諸外国における高等学校との交流を推進する。

(方策) 生徒海外研修を実施する。海外高校生との交流活動を実施する。大使館との交流を図る。検定試験受験を通して外国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

3 当該年度における取組目標とその達成に向けた具体的方策

共通重点目標 「自分で決断し行動できる力の育成」

	取組目標	具体的方策
(1) 学 校 運 営 ・ 学 校 経 営	<p>ア 地域と連携した教育活動を充実させる。 ※地域等との連携事業の実施 10件 (R6:7件 R5:5件)</p> <p>※都立学校公開講座の実施 3講座 (R6:3講座 R5:2講座 R4:3講座)</p> <p>※学校外での生徒作品等の展示・発表2回 (新規)</p> <p>イ サービス事故をゼロにする。</p> <p>ウ 生徒が安全で安心して過ごせる学校づくりを行う。 ※いじめ・体罰 0件 (R6:0件 R5:1件 R4:0件)</p> <p>※重大事件事案発生件数0件 (R6:1件 R5:1件 R4:0件)</p> <p>エ 都民に対して本校の特色や魅力の理解を充実させる。 ※入学者選抜学力検査応募倍率 1.35倍 (R6:0.98倍 R5:1.05倍 R4:1.30倍)</p>	<p>(ア) 近隣町会等と連携し、生徒の活躍の場を確保する。</p> <p>(イ) 都立学校公開講座等を実施し、成人及び中学生以下の児童・生徒への教育財産の還元を行う。</p> <p>(ウ) 学校外の展示スペース等への生徒作品の展示や、地域行事での生徒発表を行う。</p> <p>(ア) 年間3回以上の実践的なサービス事故防止研修を実施する。</p> <p>(イ) 「3ない運動プラス」の掲示を行うなどして校内外に注意喚起を図る。</p> <p>(ア) 警察等関係機関と連携を密にし、躊躇ない110番・119番通報を励行する。</p> <p>(イ) アンケート調査等を実施し、校内でいじめや体罰を絶対に許さない風土を醸成する。</p> <p>(ウ) STEP (PTA組織) と円滑に連携し、保護者からの理解を深め、学校と家庭の教育環境を整備する。</p> <p>(ア) 全ての教育活動を対象に、ホームページやSNS等を活用しながらタイムリーに情報発信を行う。</p> <p>(イ) 総合学科の魅力と本校の特色を分かり</p>

	<p>※外部会場での学校説明会等 15 件 (R6:14 件 R5:10 件 R4:13 件)</p> <p>※ホームページ更新回数 460 件 (R6:450 件 R5:450 件 R4:450 件) (SNS、YouTube 等での発信を含む。)</p> <p>オ 全教職員が心身の良好な健康状態で勤務できる環境を確保する。 ※時間外在校等時間が 1 カ月当たり 45 時間超の教員の延べ人数 120 人 (R6 182 人 R5:239 人)</p> <p>カ 予算を最大限活用し教育の充実を図る。</p>	<p>やすく発信する。</p> <p>(ウ) 本校主催説明会等や外部説明会及び出前授業等に全ての教職員が関わり多角的な情報発信を行う。</p> <p>(エ) 教職員一人一人が、総合学科の魅力や本校の特色をよく理解し、日々の教育活動での実践を通して生徒に還元するため、委員会による検討や校内研修を行う。</p> <p>(ア) 全ての業務の見直しを常に行い、業務改善や業務縮小を検討・実施し超過勤務縮減を図る。</p> <p>(イ) 教職員間の連絡を密にし、業務の効率化及び心理的負担の軽減を図る。</p> <p>(ウ) ライフ・ワーク・バランスの考え方を一層浸透させ、教職員同士が協力できる関係を構築する。</p> <p>(エ) 企画調整会議・分掌部会・教科会・教科主任会を活性化させ、意見交換できる環境を整備するとともに、必要な事前調整は行い会議時間を短縮する。</p> <p>(オ) 保護者、地域住民及び都民に教職員の働き方への理解と協力を得るため情報発信をする。</p> <p>(ア) 学校経営計画を実現するための予算編成を行う。</p> <p>(イ) 都民の理解を得られる適正な予算執行を行う。</p>
(2)	<p>ア 個性を生かした特定の分野で創意工夫や発想力を活かし、新しいものを生み出せる力を育成する。</p> <p>イ リスクを恐れず困難な課題解決に勇気を持って挑戦し、社会に貢献しようとする力を育成する。</p>	<p>(ア) 生徒の個性を把握し、常に生徒の興味関心を喚起し、各教科の学習の中で主体的、対話的で深い学びを実践する。</p> <p>(ア) 産業社会と人間及び総合的な探究の時間（課題研究を含む。）を充実させ、あきらめずに取り組み続ける力、社会の課題を把握する力、課題を解決しようとする力の具体的指導を行う。</p> <p>(イ) 教職員の研究指導力の向上を図る。</p>

	<p>ウ 学びの有用感を感じさせ、生涯学び続ける態度を育成する。 ※授業満足度の肯定回答率 90% (R6:85% R5:88%)</p> <p>エ 確かな基礎学力を身に付けさせ、グローバル社会で通用する力を育成する。 ※全教科の教科指導で M365 活用 100% (R6:95% R5:90%)</p>	<p>(ア) 全ての教科・科目で学びの有用感が感じられる授業を実践する。 (イ) 全ての教職員が、各自が担当する教科・科目の有用性を改めて分析する。</p> <p>(ア) 教員相互の授業参観をすべての教員が年間を通じて複数回行うとともに、教材の共有を図るなど授業力を研鑽する。 (イ) デジタル技術を活用した教育活動を積極的に推進するための研修を実施し、全教員が効果的なオンライン授業のスキルを向上させる。 (ウ) 学校図書館の図書等を整備するとともに、学校図書館の利活用を推進し、読書習慣の定着を図る。 (エ) 4 各教科の取組目標に掲げる教科教育を実践する。</p>
<p>(3) 生活指導及び進路指導</p>	<p>ア 危機を回避する手法や他者を思いやる心を身に付けさせ、生徒が自ら安心・安全な学校づくりができる力を身に付けさせる。</p> <p>イ 基本的な生活習慣を確立を一層推進し、社会人として自立した生徒を育成する。</p> <p>ウ 生徒の心身の健康の増進を図る。 ※生徒の生命に関わる事故 0件 (R6:0件 R5:0件 R4:0件)</p>	<p>(ア) 防災教育、交通安全教育、防犯教育に係る行事等を実施する。 (イ) いじめ防止に関する授業を実施する。</p> <p>(ア) 規則・規律・マナー・倫理観についての指導を、すべての教職員が共通理解を持って取り組む。 (イ) 規則等が存在する理由や守らなければならない理由を生徒に理解させ、自主的にルールを守る態度を育成する。</p> <p>(ア) 保健相談やカウンセリング体制を教職員・保護者に対して可視化し、柔軟で漏れのない相談体制を整備する。 (イ) スクールカウンセラーとの連携を強化し、校内研修を活用しながら学校全体の教育相談力を向上させる。 (ウ) 自殺予防に組織的に取り組み、特に SOS の出し方に関する教育の一層の充実を図る。</p>

	<p>エ 特別支援教育に関する教職員の指導力の向上を図る。</p> <p>オ 総合学科の特色を生かしたキャリア教育の充実を図る。 ※生徒のキャリア教育満足度 95% (R6:91.4% R5:91.8% R4:90.6%) ※課題研究を生かした入試の利用65件 (R6:61件 R5:20件 R4:15件)</p>	<p>(ア) 特別支援教育に関する情報・知識を全職員が共有し、適切な対応ができる体制を整備する。</p> <p>(ア) 産業社会と人間及び総合的な探究の時間（課題研究を含む。）の授業担当教員以外の教員も、生徒の個性や希望進路に応じて指導に携わり、生徒のキャリア形成に寄与する。</p> <p>(イ) 系列や教科・領域の組み合わせで新しい価値を創造できる指導を生徒の個性や希望進路に応じて全ての教員が取り組む。</p> <p>(ウ) NPO法人と協力し社会人基礎力の育成を図る。</p>
<p>(4) 特別活動その他</p>	<p>ア 価値観の異なる様々な人とボーダーレスに協調し、周囲の人を動かすことができる力を育成する。 ※部活動加入率75% (R6:73% R5:80% R4:73%)</p> <p>イ 全ての教職員が協働して生徒の体力向上と心身の健康づくりを増進させる</p> <p>ウ 国際理解教育を通してグローバル社会で通用する力を育成する。 ※国際交流件数 15件 (R6:14件 R5:12件 R4:14件) ※実用英語技能検定試験合格者 令和7年度末全生徒中 3級以上 60% 準2級以上 20% 2級以上 3% 令和9年度卒業生中 3級以上 100% 準2級以上 50%</p>	<p>(ア) 学校行事、委員会活動、部活動等を通して、互いの個性を尊重し、他者との協働や帰属意識、互いに高めあう集団の重要性を理解させる。他者と協調する力を育成する。</p> <p>(イ) 生徒が主体的に創意工夫のある計画を立案し、充実した活動を実現できるよう指導する。</p> <p>(ア) 部活動や学校行事等を通して生徒が主体的に体力向上を図ろうとする態度を育成する。</p> <p>(ア) 海外学校間交流を推進し、生徒海外派遣研修及び海外高校生等交流受け入れを行う。</p> <p>(イ) 美術・ものづくり系列をはじめ本校の特色を生かした成果物を通して駐日外国公館等への発信を体験させる。</p> <p>(ウ) 英語、中国語、ハングル、フランス語や手話を活用して積極的に交流を図る機会を設ける（オンラインによる交流を含む。）。</p> <p>(エ) 全ての1・2年次生に同検定を受験させ、卒業までに全ての生徒に実用英語</p>

	<p>2級以上 10%</p> <p>(合格者には入学前に合格した者を含む。準2級以上は準2級プラスを含む。)</p>	<p>技能検定試験のいずれかの級に合格させる。</p>
--	---	-----------------------------

4 各教科の取組目標

【国語】

1 生徒に達成させるもの

- ・ 漢字検定準2級以上に合格できる語彙力を身につける。
- ・ 自ら問いを立てて探究する力を身につけるため、図書館の利用を増やし、読書数を増やす。
- ・ 他者とのかかわりあいの中で学びを深めるため、発表等を通じて、人に伝える力を身につける。
- ・ 予習復習を欠かさない学習態度を育て、一般入試にも対応できる基礎学力を身につける。

2 教員が達成するもの

- ・ 小論文指導や志望理由書添削に関する研修や、授業力向上研修など校外の研修へ年1回以上参加する。
- ・ 定期的な教科会を開催して授業の情報共有などを図り、教材研究を深め授業力向上を目指す。
- ・ 個々の学力を伸ばすため、放課後の補講や長期休業中の講習など、学力向上のための指導を行う。

【地理歴史・公民】

1 生徒に達成させるもの

(1) 地理

人々が生きる世界の構造を諸情報から読み解くとともに、取り巻く自然環境と生活・文化との関連について考察する。また、現代の様々な諸課題について主体的に思考・判断し、解決に向かう力を身に付ける。

(2) 歴史

国際化する世界において、世界と我が国の歴史を関連付けながら、多様性理解の基礎となる歴史的知識を身に付ける。また、主体的に課題を設定し、諸情報を活用しながら考察する力を身に付ける。

(3) 公民

民主的な我が国並びに各国の政治的諸制度の成り立ちについて理解する力を身に付ける。また、一体化する世界における経済活動とそれに伴う諸課題について、主体的に課題を設定し、考察する。さらに、古代から現代までの人間の英知について学ぶことにより、平和で民主的な社会の形成者としての資質を身に付ける。

(4) 全体

年間を通して3回以上探究活動を行い、主体的に課題に取り組み、解決に向かう力を身に付ける。

2 教員が達成するもの

各学期1回以上の教科会並びに2カ月に1回以上開催する教科内研修において、授業改善の方策を探る。その結果、授業評価アンケートにおいて、生徒から8割以上の肯定的評価を得る。

【数学】

1 生徒に達成させるもの

- ・ 計算力等の基礎・基本の定着（知識・技能）
→ 基本的概念を理解し、数学的に解釈することや数学的に表現・処理する技能を身に付ける。
- ・ 数学を通して伝え合う・教え合う力を身に付けること（思考力・判断力・表現力）
→ 適切な手法を選択して問題を解決する力や、解決の過程や結果を考察し互いの意見を伝え合うことで表現する力を養う。
- ・ 学習に取り組む姿勢を身に付けること（主体的に学習に取り組む態度）
→ 授業準備の徹底や授業規律の遵守、提出物の期日厳守（提出率 100%へ）

2 教員が達成するもの

- ・ 基礎基本の指導の徹底→授業の実施だけでなく、定期的な課題設定による学習習慣の定着を目指す。
- ・ 質問会の設定→定期考査前を中心に、学習フォローの場を設け、生徒の理解度向上を補助する。
- ・ 理数系進学希望者へのサポート体制の整理→選択教科受講者を中心に、個別相談や進学相談に応じる。

【理科】

1 生徒に達成させるもの

自然の事物・現象に関心を持ち、積極的に探究しようとする態度を身につける。また、そのために必要な知識、観察・実験等の技術を身につける。そして、それらから得られた結果を科学的に分析、判断し、正しい結論を導き出す力を養う。

2 教科の教員が達成するもの

生徒の実態に合った授業を工夫し、定期考査での平均点が60%以上、かつ50%以上得点する生徒が半数以上になるよう努める。また、授業アンケートにおいて生徒から8割以上の肯定的評価を得る。

【保健体育】

1 生徒に達成させるもの

- ・ 各種運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- ・ 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- ・ 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2 教科の教員が達成するもの

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライ

フを継続するための資質・能力を育成することを目指す。

【芸術】

- 1 生徒に達成させるもの
 - ・ 芸術 I では基礎的な技能と豊かな感性を育む
 - ・ 専門科目では、受検に対応できる力、通用する力を育む
- 2 教員が達成するもの
 - ・ 講習会を充実させる → 夏休みでは3週間の講習会を開催する。
 - ・ 現場の教員のも芸術という教科の理解を促す → 陶芸講習を行う。
 - ・ モチーフ研究・研修会を行う → 特別推薦のためモチーフの研究を美術科全員で行い、受験生に最適な課題を考える。

【外国語】

- 1 生徒に達成させるもの
 - 卒業時に 15%以上の生徒が英検二級、35%以上の生徒が英検準二級レベルに到達することができる。
 - ＜そのために、＞
 - ・ 高校3年生向けに CEFRA2～B1 レベルの講座を通年開講する
 - ・ 1年次より、英検を年1回全員が受験し、課題と到達度を確認させる。
- 2 教員が達成するもの
 - (1) 卒業時に 20%以上の生徒が英検二級、40%以上の生徒が英検準二級レベルに到達することができるように指導することができる。
 - ＜そのために、＞
 - ・ 一人3回以上相互に授業観察をする。
 - ・ ICT 機器やデジタル教科書、ループリック作成、に関する研修会を3回以上行う。
 - (2) 生徒募集活動に貢献する
 - ＜そのために、＞
 - ・ 体験授業を校内外で積極的に行う
 - ・ 公開講座を行う

【家庭】

- 1 生徒に達成させるもの
 - ・ 人間の健全な発達と生活の営みを総合的に捉え、家族、家庭の意義、高齢者や保育、社会保障に対する問題、家庭経済と社会の関わりについて理解する。
 - ・ 生活を営むために必要な衣食住や消費生活などに関する知識や技術を総合的に身につける。
 - ・ ライフプラン考察や各実習等を通し、男女が協力して自分から進んで生活を創造する能力と実践的態度を身につける。
- 2 教科の職員が達成するもの
 - ・ 生徒の自立に向け、上記内容を身につけられるよう努める。

【情報】

1 生徒に達成させるもの

情報や情報技術に自ら主体的に能力と態度を身に付けさせる。

- ・ ワープロ・表計算の科目において、受講者全員の3級取得を目指す。
- ・ 「情報I」においては、課題研究にむけて全員がプレゼンテーションできる。

2 教員が達成させるもの

情報や情報技術に自ら主体的に能力と態度を育てる。

- ・ 資格取得に向けた教材研究や補講を実施する。
- ・ 学習支援システムや Office ソフトの活用について、研究し、生徒に指導する。

【工業】

1 生徒に達成させるもの

- ・ 旋盤や各種溶接機などの基本操作に習熟し、工作技術を高め年間を通じて3つ以上の作品製作を行う。安全で適切な機器操作と加工技術を身に付け、将来にわたり、様々な場面で社会貢献のできる技能と意識を身に付ける。

2 教科の職員が達成するもの

- ・ 生徒が安全かつ確実に技術習得ができるよう、溶接・切削・研磨・穿孔の各分野において、各種研修会に積極的に参加し、十分な技能を習得する。
- ・ 学校所有の各種大型工作機械の安全管理とメンテナンスに習熟し、必要に応じて外部に適切な保守依頼のできる専門性を高める。
- ・ CADによる設計と工作技術の向上を目指し、本校の「ものづくり」をベースとした国際交流の一翼を十分担えるよう研鑽し、工作物のアイデアを校内外に向けて積極的に発信していく。